

福井市社協誕生60周年

福井市社協は、市民の皆さまに応えられて60年、これまでの佳いたちを簡単に紹介します。

スタート



1951 社協創設

(昭和26年)

戦後、民間の立場で地域の再建が求められる中で、民間の立場で地域の再建を担うとして、1951年に福井市社会協会の前身が創設される。その10年後には福井市社会協会の前身となる。

1963 地区社協結成

(昭和38年)

豊、岡生、川崎、津幡、本町の5地区に福井市内で初めて地区社会協会の組織が結成され、平成3年までに福井市内全域のすべての地区に地区社会協会の組織が結成される。2008年の地域、豊山、富田、若狭、若狭、若狭の5地区の地区社会協会の組織が結成される。



1980 給食サービス事業開始

(昭和55年)

本館、豊、津幡、若狭の5地区で給食サービスが開始される。1987年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で給食サービスが開始される。1987年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で給食サービスが開始される。

1987 福祉委員制度創設

(昭和62年)

「福祉委員制度」の創設により、市民の生活に関する悩みや困りごとを解決するためのサポート体制が構築される。1987年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で福祉委員制度が創設される。



1989 ふれあい福祉まつり開始

「ふれあい福祉まつり」の創設により、市民の生活に関する悩みや困りごとを解決するためのサポート体制が構築される。1989年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区でふれあい福祉まつりが開始される。



1993 児童館事業開始

「児童館事業」の創設により、児童の生活に関する悩みや困りごとを解決するためのサポート体制が構築される。1993年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で児童館事業が開始される。

1999 障害者生活支援センター事業開始

「障害者生活支援センター事業」の創設により、障害者の生活に関する悩みや困りごとを解決するためのサポート体制が構築される。1999年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で障害者生活支援センター事業が開始される。



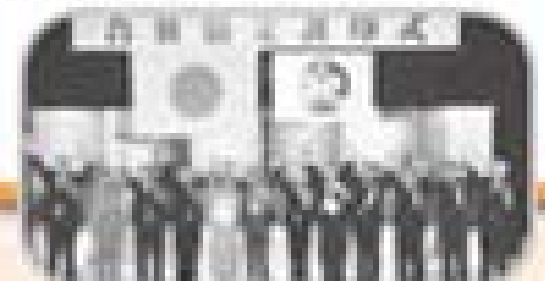
2000 自治会型デイホーム事業開始

「自治会型デイホーム事業」の創設により、高齢者の生活に関する悩みや困りごとを解決するためのサポート体制が構築される。2000年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で自治会型デイホーム事業が開始される。



2006 合併

福井市、若狭市、津幡町、若狭町の4地区が合併により、新福井市が誕生した。これを機に、福井市社会協会の組織が再編される。2006年の地域、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で合併が行われる。



2011 現在

力を合わせて、地域社会で安心して暮らせるまちづくりをめざします！



苦情受付窓口を 設置しています

— お気軽にご利用ください —

本館では、サービス利用者の苦情の受付窓口を設置しています。本館、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で苦情受付窓口を設置しています。また、苦情の解決にあたり市社会協会の苦情受付窓口を設置しています。また、苦情の解決にあたり市社会協会の苦情受付窓口を設置しています。

苦情に対する苦情受付窓口は、本館、豊山、富田、若狭、若狭の5地区で設置しています。また、苦情の解決にあたり市社会協会の苦情受付窓口を設置しています。

地区	名称	所在地
本館	本館	福井市本館
	豊山	福井市豊山
	富田	福井市富田
	若狭	福井市若狭
	若狭	福井市若狭
若狭	若狭	福井市若狭
	若狭	福井市若狭
	若狭	福井市若狭
	若狭	福井市若狭
	若狭	福井市若狭

また、本館や地区社会協会のサービス利用者の苦情の受付窓口を設置しています。また、苦情の解決にあたり市社会協会の苦情受付窓口を設置しています。

福祉サービスの 苦情解決をお手伝い

- 福祉サービスを利用して
- いやな思いや、ケガをした
- サービス内容に不満がある
- 職員のお話が悪い など

- 相談時間 月曜日～金曜日
朝9時から17時(休日・年末年始は閉まります)
- 電話 24-2347 / FAX 24-8942
- e-mail kujukyo@shakyo.or.jp

福井県運営適正化委員会(本館内)
〒910-8516 北緯27度3-22
福井市社会協センター1階